

# 発注企業動向調査結果

-2022.10-

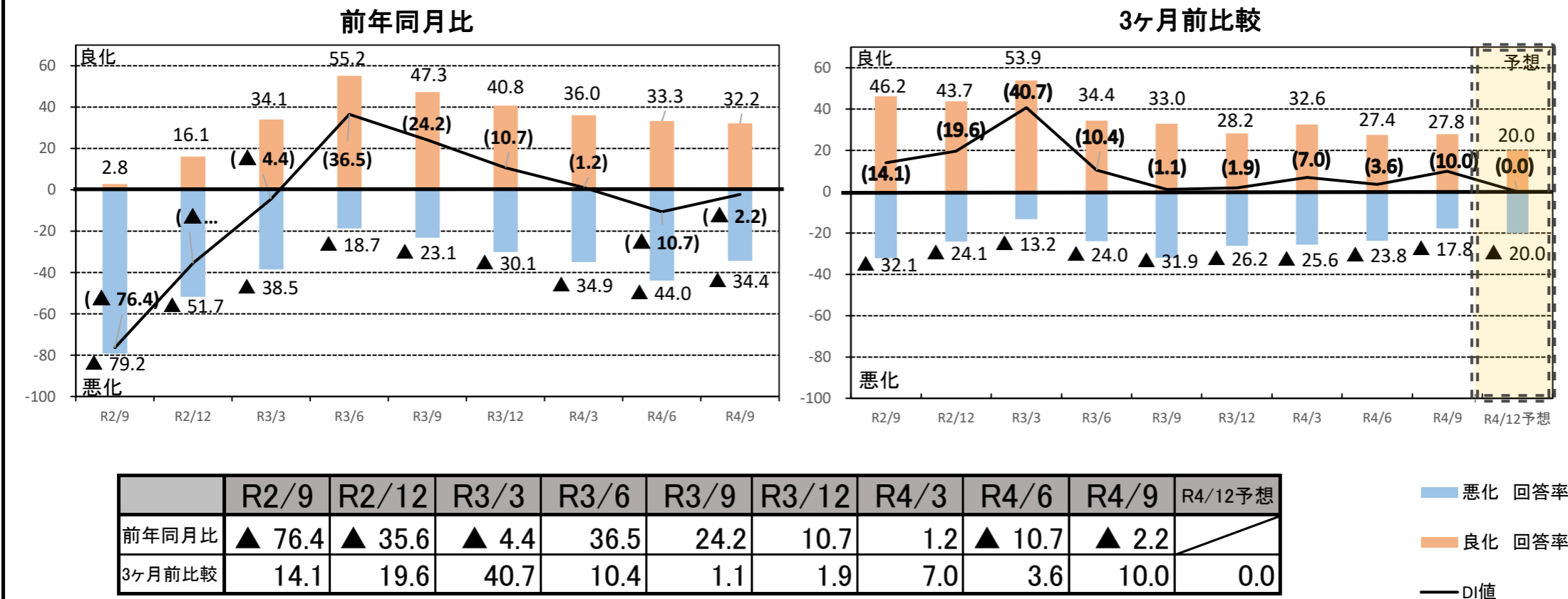
- 調査時点 令和4年9月調査(令和4年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業90社(回答率:60.00%)

## <業種内訳>

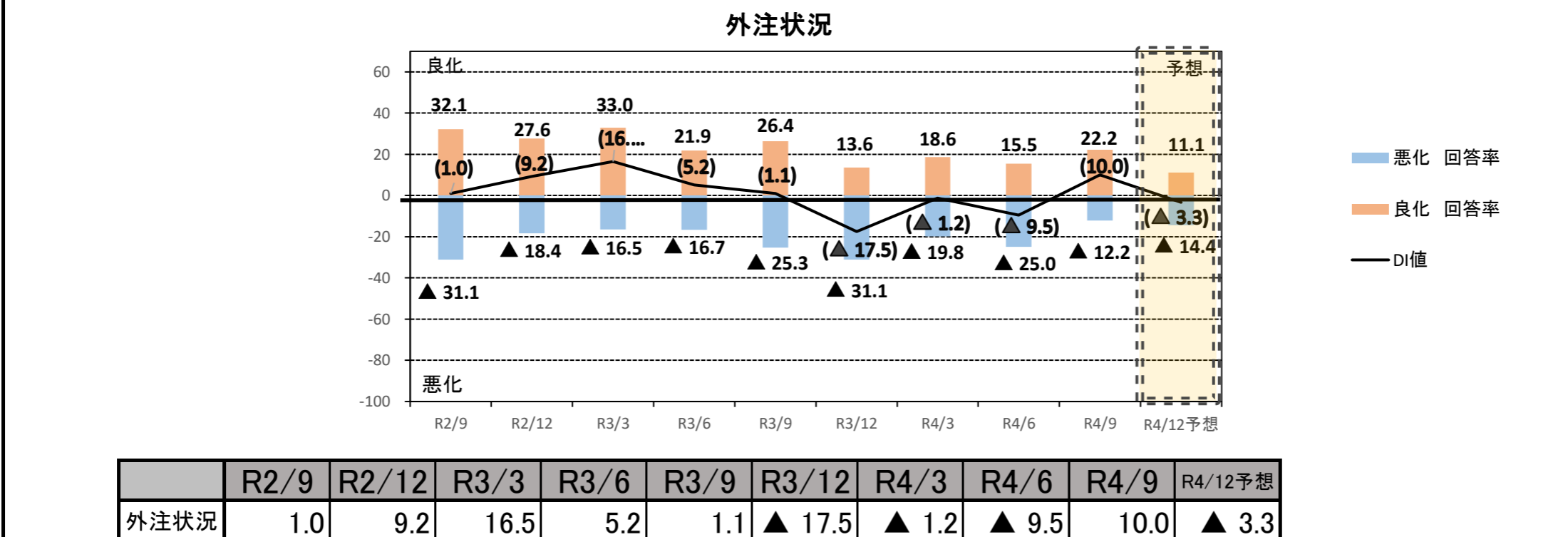
プラスチック	10社
鉄鋼・非鉄	12社
金属製品	8社
一般機械器具	15社
電気機器	21社
輸送用機器	16社
精密機器	3社
縫製	5社
計	90社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

## ●生産高



## ●外注状況



## ●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲2.2で前回の▲10.7から8.5ポイント増となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは10.0で前回の3.6から6.4ポイント増となった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は10.0で前回の▲9.5から19.5ポイント増となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が0.0、外注状況が▲3.3という予想になった。
- ・その他自由意見として、
  - ・得意先からの注文の増減が大きく、また、短納期化しているので生産対応に苦慮している。
  - ・技術者の確保が困難になっている。
  - ・自動車業界に生産回復の情報はあものものの、実態が伴わず回復の兆しが見えない。
  - ・半導体や部品の入手難で、生産が滞留している。
  - ・1~2年先まで受注があり、生産体制を整える必要性から外注展開を拡大予定である。
  - ・医療分野への再投資、市場拡大が予想され期待している。

という意見が寄せられた。